

2019年7月9日掲載 輸送経済新聞

2期ぶりに増収増益を達成

DTHD

第一貨物と太平興業を傘下に持つディー・ティール・ホールディングス（本社・山形市、武藤幸規社長）の2019年3月期連結業績は、売上高が前期比4・4%増の133億5600万円、経常利益が同78・5%増の28億8500万円。自動車販売が持ち直し、2期ぶりの増収増益となった。

第一貨物は、特積み事

業で重量に見合う運賃収受など条件の改善、輸送量増加で増収増益。ロジスティクス事業では大口顧客の取引が改善。売上高は同5・1%増の749億2400万円、経常利益は同238・1%増の20億7600万円。

自動車販売の太平興業は、主力のトラック・バス分野で整備部門の入庫増加と単価改善が進展。売上高は同1・7%増の300億1700万円、経常利益は同16・7%増の2億8000万円。